



手軽に出来て 経費削減に繋がる! 省エネ対策 **飲食店編**

できるだけ手間やお金をかけずに手軽にできる経費削減・省エネ対策のアドバイスを各専門分野の講師から事例を交えて盛りだくさんの内容でお話しいただきました。

講師



大阪府環境農林水産部
エネルギー政策課 主査
仲秋 敏一 氏



関西電力(株)お客さま本部
法人営業グループ 課長
田口 稔 氏



大阪ガス(株)エネルギー開発部
最適厨房推進統括
大槻 馨 氏



コーディネーター

大槻 馨 氏



パネリスト

大起水産(株)
店舗開発部課長
牧山 浩一 氏



パネリスト

マルシェ(株)人事総務部
サブリーダー
堀内 健司 氏



パネリスト

スリーメンジャパン(株)
取締役副社長
成内 健 氏



パネリスト

(株)ラックランド 顧問
石山 幸生 氏

Pick UP

**1 大阪府市で取り組むエネルギー施策と飲食店舗の省エネ、
国等の補助金**

2 冬に向けての省エネ対策



3 ちょっとした工夫で経費削減に繋がる省エネ事例

パネルディスカッション



1

大阪府市で取り組むエネルギー施策と 飲食店舗の省エネ、国等の補助金



大阪府環境農林水産部
エネルギー政策課 主査

仲秋 敏一 氏

大阪府市で取り組むエネルギー施策

エネルギーの地産地消を目指し、自治体みずからがエネルギー問題に積極的に関わっていかなければいけないとの想いでこの施策に取り組んでいます。

新たなエネルギー社会の構築



これまでは…

- ・原発依存
- ・地域独占による大規模集中型電源
- ・競争のない認可価格

これからは…

- ・原発への依存度の低下
- ・供給主体の多様化による分散型電源
- ・需要側が自由に供給事業者を選択できることによる競争価格への移行

2020年度における効果(イメージ)

供給力の
増加

- ・太陽光発電
- ・分散型電源
- ・廃棄物発電等

▶ 125万kW以上

需要の
削減

- ・ガス冷暖房
- ・BEMS等

▶ 25万kW以上

150万kW
以上を新たに創出

大阪の成長や安定した府民生活と調和のとれた、新たなエネルギー社会の構築を目指します。

おおさかスマートエネルギーセンターの運営

大阪府・市の共同事業として、ワンストップで創エネ・蓄エネ・省エネ・省CO₂のご相談にお応えする「おおさかスマートエネルギーセンター」を運営しています。

中小事業者の創エネ、蓄エネ、省エネ、省CO₂対策の相談、アドバイス
太陽光パネル普及啓発事業

都市インフラ(府市施設)を活用した省エネ設備等実証事業

府市有地を活用した太陽光発電施設設置事業

再生可能エネルギーの導入可能性の調査、検討

おおさか版BEMS事業者登録制度(エネルギーの「見える化」)

国等の各種補助金の周知、PR

おおさかスマート
エネルギーセンター

06-6210-9254

様々なご相談にお応えします!

このような様々な事業の拠点として運営しています。まさに今日のセミナーもこの事業の一環として講師を派遣し、省エネ・節電の推進を行っているところです。

飲食店舗の省エネ

省エネをするにあたって、まずは**現状の把握**(今のくらいエネルギーや光熱費を使用しているのか)が大事です。ダイエットと同じで、まずは体重計に乗ってそこからどのくらい減ったのかを知ることと同じです。

省エネ・省CO₂対策に取り組むメリット

1

業績UP!

2

信頼UP!

3

魅力UP!

(評価)

Plan

▶ 何をするか

「PDCAサイクル」の活用

Do

▶ 実際にやってみる

Check

▶ 効果はどうだったか、手間や手順など無理はないか

Action

▶ ○継続・習慣化 ×一旦元に戻す・別の手を考える

補助金制度について

補助金の申請手続きは**それぞれ期間が決まっています**。

今年度は既に申請が終了していますが、来年度の補助金見込みとして例をあげていきます。

・手続きの例(経済産業省「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」)



2 冬に向けての省エネ対策



関西電力(株)お客さま本部
法人営業グループ 課長
田口 稔 氏

今すぐできる冬の節電ポイント

それぞれの機器の特性を知って自身の店舗に合うように使っていただくことが一番重要です。

照明

店舗・執務室エリア等の照明の間引き

空室・不在時のこまめな消灯

休業時の消灯及び点灯範囲を表示

採光を利用した消灯、店舗屋外照明の季節別管理

厨房

冷凍・冷蔵庫、製氷機

→ 詰めすぎない。扉の開閉は少なくし、出し入れは素早く。フィルター掃除や霜取りを定期的に。等
待機電力カット、使用しない機器のスイッチオフ

→ 使用していない調理機器のプラグを抜く。調理終了と同時に調理機器のスイッチオフ。等

ショーケース

→ ショーケース照明を消灯。使用台数を出来るだけ少なく。

フライヤー・グリドル・オーブン等

→ 営業開始時刻に合わせてスイッチオン。最適な設定温度に見直し。等

空調

窓の断熱対策

→ 夜間はブラインドを閉め、昼間外光が入る場合はブラインドを開けて空調負担を軽減。

扉の冷氣・暖気漏れ防止

室内機フィルターの洗浄

→ 定期的にフィルターを洗浄し、通過抵抗を減らす事で搬送動力を低減。(2週間に1度目安)

暖房温度の設定変更、空室・不使用エリア停止

空調機立上がりの分散起動



大阪ガス(株)エネルギー開発部
最適厨房推進統括

大槻 馨 氏

最も効果的な省エネ対策としては「**節電＝ピーク電力の削減**」が重要です。

ガスもピークを落とすことで割安な料金契約が可能になる場合があります。飲食店など業務用のお客様まで、季節によるご使用量の変動が小さく、ガスの使用を昼間から夜間に移行、または夕方のピーク時の負荷制御を行うことができるお客様向けの「時間帯別契約」などです。

日頃のガスの省エネポイントは以下の通りです。

● 鍋から火があふれないように「中火」する。

ケースによって異なりますが、ランニングコストで約5%程度の削減効果があります。急いでいないとき、調理上問題がない時は「中火」を使う習慣をつける。

● 「強火」を使用しても炎があふれない直径の大きな鍋を日ごろから選んでおく。ただし、コンロごとに鍋の大きさに指定があるのでそれを確認し守ることが重要です。大きすぎる鍋は、「給気不良＝一酸化炭素の発生」の原因になることがあります。

● 鍋にフタをする。

鍋にフタをすることで15～20%節減できます。

調理上問題がないのに手間だからということでフタをしていない調理現場がまだあるようです。

● 効率の高い機器を選ぶ。

古い機器と比較して20～40%ほど効率が上がってきています。

イニシャルコストを意外に早く回収できます。

是非、効率のよい機器を選んで、最適な炎の状態で使っていただくことが、省エネになります。

3 ちょっとした工夫で経費削減に繋がる省エネ事例 パネルディスカッション



大槻
環境委員長

大起水産(株)における省エネ対策

現在、回転寿司店**25**店舗、居酒屋**5**店舗、鮮魚店**10**店舗、計**40**店舗を展開する大起水産(株)。平成23年10月に新築店舗(真面目)で、「**高効率空調設備**」「**LED照明設備**」「**高効率給湯設備**」を導入した結果、弊社同条件店舗と比較しても**15%**の削減効果が出ています。どうしても投資コストはかかってきますが最終的な削減効果を見ても有効的であると考えます。既存店での省エネ対策として、節水装置の導入、エアコンの定期的なフィルター・空調機器内の清掃・始動時間をずらしての使用開始、冷蔵庫の定期的なフィルター等の清掃・定期メンテナンス・庫内容量を7割までに抑える、といったことで手軽に効果も期待できます。



大起水産(株)
店舗開発部課長
牧山 浩一 氏

マルシェ(株)の取り組み

費用をかければ簡単にできる省エネですが、**費用をかけずに実践出来ること**は何かということを考えているのですが、やはり一番の課題は「**省エネに対する皆の意識**」だと言えます。店舗のスタッフに対する意識付けは非常に苦勞するところでまだまだ発展途上です。その一つとして誰もができるところを**本社から**始めました。その中でユニークなのが、窓に「プチプチ(エアークャップ)」をテープや霧吹きで水を吹きかけべたと付けます。それだけで**5~10%**のコスト削減ができると聞き、実践しています。そういうところから実践していくと意識も少しずつ変わっていきます。もう一つは**現状把握**をしようという事で**毎日メーターをチェック**しています。**本社が率先して実践**することで各店舗でも実践してもらえるようになり、効果も出てきていると思います。これが当たり前の取り組みになっていくように新しいスタッフにも伝えていくことが大切だと考えています。



マルシェ(株)人事総務部
サブリーダー **堀内 健司** 氏



スリーメンジャパン(株)
取締役副社長 **成内 健** 氏

スリーメンジャパン(株)からの省エネ事例紹介

省エネ・コスト削減共に出来ることは3つしか無いと言われています。

1つ目は「調達改善」、2つ目は「設備改善」、3つ目が「運用改善」です。

先程のマルシェさんのように「**毎日メーターをチェックする**」という行動はかなり

レベルの高い企業さまだと思います。誰がやるのか?ではなく、「**全員**」で期間(基準)を決めて取り組んだ企業様が結果を出しています。

(株)ラックランドからの省エネ事例

上手に**換気**をすること、家庭でも暑い時は窓を開け、換気をして風を通す。**店舗でも**同じことを実践すれば必ず省エネ・省コストになります。思いつきではなく見えるようにして**継続**してやらないと意味がありません。**意識の高まりがお店のレベルアップ**につながるのです。



(株)ラックランド 顧問
石山 幸生 氏



いろんなことを試してみて自身の会社・店舗に合う事を実践していくことが重要で、他の会社・店舗の成功が必ずしも自身のところで合うとは限らないので試してみることが大事です。3つの改善「**調達改善**」「**設備改善**」「**運用改善**」と「**人**」に着目して是非実践してもらえたらと思います。

補助金の活用や細かい経費の削減をして**浮いたお金**を上手く省エネ機器に活用し、更にその省エネ機器が**経費の削減**につながるということをもう一度洗い出していきたいと思いました。



補助金は上手く使っていかないと損だと思えます。ライフラインである「**電気**」「**ガス**」「**水道**」を含めて、**会社でも家庭でも**省エネに取り組んでいかなければいけないということをもう一度再認識していただきたいと思えます。環境分野で初のノーベル賞を受賞したマータイさんの「**モットタイナイ**」という考えからどんどんヨーロッパ形式的な省エネやエネルギーの改善、特に日本の場合には東日本大震災からこのような流れが出来てきていると思えます。この流れを止めないためにも私たちのできるところを一つ一つやっていくこと。地球環境という大きな話と細かいところの現場という二つをいかにつなげて**現場の意識を高めていく**かということをやりたいと思っています。